

## 分科会討議日程

## 第27分科会「ジェンダー平等教育」

共同研究者氏名(所属)	杉田真衣先生 (東京都立大学)				
分科会役員氏名(学校名) 敬称略	中村万里菜 (伊那北高校)	河合智子 (辰野高校)	中村富貴子 (箕輪進修高校)	内山由香里 (伊那北高校)	料治正和 (田川高校)
	小林純子 (須坂創成高校)	佐藤知子 (長野南高校)	河西綾 (本部)	鶴秀彦 (米沢小学校)	荒井彰平 (須坂支援学校)

11月5日(日)

時間割	レポート題名	学校(支部)	氏名	
討議Ⅰ 14:00～ 15:00	討議の柱:			
	1	課題提起		
	2	ご講演「ジェンダー平等と高校教育の課題」+質疑応答	杉田真衣先生	東京都立大学
	3			
	4			
討議Ⅱ 15:10～ 17:00	討議の柱:実践報告とワークショップ			
	5	実践報告1(40分)「人権教育としての包括的性教育～自分を護る・相手を護る～」	佐藤良裕先生	東海大諏訪高校
	6	実践報告2(20分)	実践者	
	7	参加者によるワークショップ(50分)		
討議Ⅲ 17:00～ 17:30	まとめ			
参加者への 連絡事項				

## 課題提起

はじめに

「ジェンダー平等」を達成できた社会・学校現場とはどんな場所になるのだろうか。それを想像することは何だか難しいように思う。なぜなら、悲しいほどに根深い問題があり、日常の至る所にジェンダー差別・ハラスメントが存在し、人々を抑圧し苦しめているからだ。「ジェンダー平等」を声高に訴えることで攻撃に晒されたりもする。「フェミニスト」というラベリングに対する偏見もある。「ジェンダー平等」についての議論は何故か感情的なものになりやすい側面があるように思う。だからこそ、この教文会議の場は、だれもが安心して意見を共有できるセーフスペースである必要がある。今回はご講演とワークショップを軸に、語り合いの場をなることを願う。トピックの1つである「包括的性教育」とは、性を生殖・性交のことだけでなく、人権教育を基盤に人間関係を含む幅広い内容を体系的に学ぶことを指し、現在その充実が課題となっている。

以下の2点を中心に意見共有を行い、学びを深めたい。

討議の柱①ご講演「ジェンダー平等と高校教育の課題」

杉田真衣先生(東京都立大学)

討議の柱②実践報告+ワークショップ

「人権教育としての包括的性教育～自分を護る・相手を護る～」

佐藤良裕先生(東海大諏訪高校)、授業実践者